

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場会社名 株式会社ロブテックス 上場取引所 大
 コード番号 5969 URL http://www.lobtex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 経営管理本部長 (氏名) 山口 正光 TEL 072(980)1110
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	4,037	22.8	367	147.6	286	248.7	136	297.7
22年3月期第3四半期	3,288	△23.0	148	—	82	—	34	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	14.55	—
22年3月期第3四半期	3.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	6,962	1,943	26.8	198.26
22年3月期	6,863	1,785	25.3	184.44

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 1,866百万円 22年3月期 1,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,350	18.0	410	65.2	290	84.2	140	54.3	14.87

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 — 社 ()、除外 — 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	10,000,000株	22年3月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	586,169株	22年3月期	584,748株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	9,414,294株	22年3月期3Q	9,417,429株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	
【第3四半期連結会計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新興国の成長による輸出の増加や政府の経済対策効果から一部では景気回復の兆しがみられましたものの、雇用情勢は厳しく、円高が進行するなど、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは2010年度の経営スローガンとして「グループ全員一丸となり、変化を恐れず、新たな価値を創造します」を掲げ、日々変わりゆく市場ニーズ・ウォンツに即応し、新たな価値を提供し続ける体制を築くことに取り組んでまいりました。その結果、売上高は前年同期比22.8%増の40億3千7百万円（前年同期32億8千8百万円）となり、利益面では、営業利益で同147.6%増の3億6千7百万円（同1億4千8百万円）、経常利益で同248.7%増の2億8千6百万円（同8千2百万円）、四半期純利益で同297.7%増の1億3千6百万円（同3千4百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<金属製品事業>

国内売上におきまして、苦戦を強いられておりました切削工具部門は回復基調となり、ハンドツール部門では、圧着工具が減少いたしましたものの、万力類をはじめ、他の品種は堅調に推移し、ファスニング部門では工業用ファスナーが大幅に伸張しました。海外売上におきまして、ハンドツール部門では、レンチ類が前年並みとなったものの、プライヤ類・圧着工具が堅調に推移し、ファスニング部門では欧米においてエアリーベッターが回復基調にあります。その結果、金属製品事業の合計売上高は38億4千4百万円となりました。利益面では、前年度に実施した賃金の一定率カットによる人件費削減を正常化したことによる費用の増加はありましたが、増収効果や在庫回転期間管理の徹底による売上原価率の改善、その他の経費削減により、営業利益は2億8千3百万円となりました。

<レジャーその他事業>

猛暑や厳冬などの異常気象の影響により、ゴルフ練習場への入場者数が減少し、売上高は1億9千2百万円となり、営業利益は8千3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ9千9百万円増の69億6千2百万円となりました。

<資産>

流動資産は、たな卸資産が減少しましたが、現金及び預金や受取手形の増加を主因に前連結会計年度末比3億2千9百万円増の39億8百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の減価償却や長期預金の減少を主因に同2億2千8百万円減の30億5千3百万円となりました。

<負債>

流動負債は、1年内償還予定の社債及び買掛金の増加がありましたが、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末比5千8百万円減の31億4千9百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加はありましたが、社債の減少やリース債務の返済により、ほぼ横這いの18億6千9百万円となりました。

<純資産>

当第3四半期純利益の計上による利益剰余金及び少数株主持分の増加を主因に前連結会計年度末に比し1億5千8百万円増加し、19億4千3百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、2億2千7百万円増加（前年同期1億7百万円の増加）し、13億1百万円となりました。

キャッシュ・フローの区分別の概要は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

売上債権は増加したものの、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上、たな卸資産の減少、仕入債務の増加により、資金が4億4千6百万円増加（前年同期5億2百万円の増加）しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

定期預金の払戻による収入はありましたが、有形固定資産の取得や投資有価証券の取得による支出により、資金が0.7百万円減少（前年同期1千3百万円の減少）しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

社債の償還やリース債務の返済、配当金による支出等により、資金が2億1千7百万円減少（前年同期3億8千万円の減少）しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、直近の業績の進捗を踏まえ、平成22年5月13日に発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成23年2月7日）別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

(「資産除去債務に関する会計基準」等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額はありません。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,301,815	1,074,107
受取手形及び売掛金	926,916	849,264
商品及び製品	996,949	1,012,758
仕掛品	280,048	276,688
原材料及び貯蔵品	254,100	278,679
その他	149,982	89,623
貸倒引当金	△1,551	△2,149
流動資産合計	3,908,261	3,578,972
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,058,067	1,106,370
土地	741,388	741,388
その他（純額）	890,949	1,001,766
有形固定資産合計	2,690,405	2,849,525
無形固定資産	60,823	78,950
投資その他の資産	301,838	352,648
固定資産合計	3,053,067	3,281,124
繰延資産	1,438	3,623
資産合計	6,962,768	6,863,720
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,599	169,406
短期借入金	1,964,098	2,348,560
1年内償還予定の社債	500,000	300,000
未払法人税等	64,978	28,214
その他	364,200	362,043
流動負債合計	3,149,877	3,208,224
固定負債		
社債	—	500,000
長期借入金	1,424,743	848,738
退職給付引当金	30,464	31,388
役員退職慰労引当金	3,120	3,120
その他	411,030	486,782
固定負債合計	1,869,358	1,870,029
負債合計	5,019,235	5,078,254

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	548,789	421,212
自己株式	△148,267	△148,106
株主資本合計	1,851,567	1,724,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,804	12,438
評価・換算差額等合計	14,804	12,438
少数株主持分	77,160	48,875
純資産合計	1,943,532	1,785,465
負債純資産合計	6,962,768	6,863,720

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,288,755	4,037,292
売上原価	2,156,323	2,631,704
売上総利益	1,132,431	1,405,587
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	339,698	352,712
その他	644,274	685,354
販売費及び一般管理費合計	983,972	1,038,067
営業利益	148,459	367,520
営業外収益		
受取利息	755	416
受取配当金	1,867	2,784
仕入割引	4,010	—
その他	17,635	14,024
営業外収益合計	24,269	17,225
営業外費用		
支払利息	56,100	61,028
売上割引	27,565	29,710
その他	7,042	7,996
営業外費用合計	90,707	98,735
経常利益	82,020	286,011
特別利益		
投資有価証券売却益	25	—
固定資産売却益	8,705	—
貸倒引当金戻入額	6,951	738
特別利益合計	15,681	738
特別損失		
固定資産除却損	498	220
投資有価証券評価損	—	47
子会社株式売却損	—	711
その他	14,046	—
特別損失合計	14,544	979
税金等調整前四半期純利益	83,157	285,769
法人税等	41,210	128,934
少数株主損益調整前四半期純利益	—	156,834
少数株主利益	7,504	19,842
四半期純利益	34,443	136,992

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,097,796	1,430,151
売上原価	730,533	931,605
売上総利益	367,263	498,546
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	116,159	118,792
その他	233,883	215,577
販売費及び一般管理費合計	350,043	334,370
営業利益	17,220	164,175
営業外収益		
受取利息	192	61
受取配当金	698	1,870
仕入割引	706	—
その他	2,932	3,865
営業外収益合計	4,530	5,798
営業外費用		
支払利息	21,019	20,039
売上割引	9,624	10,360
その他	1,651	2,246
営業外費用合計	32,294	32,645
経常利益又は経常損失(△)	△10,543	137,328
特別利益		
固定資産売却益	8,705	—
投資有価証券評価損戻入益	—	5
貸倒引当金戻入額	160	634
特別利益合計	8,865	639
特別損失		
固定資産除却損	155	—
その他	1,511	—
特別損失合計	1,667	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,345	137,968
法人税等	3,331	53,568
少数株主損益調整前四半期純利益	—	84,399
少数株主利益	3,421	10,504
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,097	73,895

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	83,157	285,769
減価償却費	230,488	204,193
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18,924	△14,167
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,691	△924
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26,065	—
受取利息及び受取配当金	△2,622	△3,201
支払利息	56,100	61,028
有形固定資産売却損益(△は益)	△8,705	—
固定資産除却損	498	220
投資有価証券売却損益(△は益)	△25	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	47
子会社株式売却損益(△は益)	—	711
売上債権の増減額(△は増加)	18,581	△64,082
たな卸資産の増減額(△は増加)	141,873	37,028
その他の資産の増減額(△は増加)	44,114	△54,647
仕入債務の増減額(△は減少)	40,443	87,193
その他の負債の増減額(△は減少)	34,067	12,819
その他	24,026	—
小計	610,316	551,989
利息及び配当金の受取額	2,764	3,206
利息の支払額	△60,116	△62,937
法人税等の支払額	△50,504	△46,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	502,459	446,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
有形固定資産の取得による支出	△15,293	△13,798
有形固定資産の売却による収入	11,225	—
投資有価証券の取得による支出	△2,731	△96,415
投資有価証券の売却による収入	75	—
子会社株式の売却による収入	—	7,888
その他	△7,207	1,547
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,932	△777
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△893,336	△450,000
長期借入れによる収入	800,000	934,000
長期借入金の返済による支出	△179,725	△292,457
社債の償還による支出	—	△300,000
リース債務の返済による支出	△107,159	△99,735
自己株式の取得による支出	△390	△160
配当金の支払額	—	△9,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380,610	△217,768
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	107,916	227,707
現金及び現金同等物の期首残高	1,007,716	1,074,107
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,115,633	1,301,815

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	金属製品事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,027,607	70,188	1,097,796	—	1,097,796
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,027,607	70,188	1,097,796	—	1,097,796
営業利益又は営業損失(△)	△19,862	37,083	17,220	—	17,220

(注) 1 事業区分は当社の事業の内容に照らし、金属製品事業とレジャー事業に分類しております。

2 各区分の主な製品

金属製品事業……ハンドツール(レンチ・プライヤ・圧着工具等)、ファスニングツール(リベッター・ナッター等)、工業用ファスナー(リベット・ナット等)、切削工具(ダイヤモンドホイール・ドリル等)などの製造販売

レジャー事業……ゴルフ練習場

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	金属製品事業 (千円)	レジャー事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,074,076	214,678	3,288,755	—	3,288,755
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,074,076	214,678	3,288,755	—	3,288,755
営業利益	31,027	117,432	148,459	—	148,459

(注) 1 事業区分は当社の事業の内容に照らし、金属製品事業とレジャー事業に分類しております。

2 各区分の主な製品

金属製品事業……ハンドツール(レンチ・プライヤ・圧着工具等)、ファスニングツール(リベッター・ナッター等)、工業用ファスナー(リベット・ナット等)、切削工具(ダイヤモンドホイール・ドリル等)などの製造販売

レジャー事業……ゴルフ練習場

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

本邦以外の国または地域に所在する支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	東アジア	北中米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	133,408	21,841	3,322	15,359	173,931
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	1,097,796
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	12.1	2.0	0.3	1.4	15.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 東アジア……韓国、台湾
- (2) 北中米……アメリカ
- (3) 欧州……ドイツ
- (4) その他……オーストラリア

3 海外売上高は、当社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	東アジア	北中米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	349,243	44,570	11,485	39,497	444,797
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	3,288,755
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.6	1.4	0.3	1.2	13.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 東アジア……韓国、台湾
- (2) 北中米……アメリカ
- (3) 欧州……ドイツ
- (4) その他……オーストラリア

3 海外売上高は、当社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「金属製品事業」は、作業工具・ファスニングツール・工業用ファスナー・電設工具・切削工具等の製造販売をしております。「レジャーその他事業」は、主としてゴルフ練習場の運営をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	3,844,777	192,514	4,037,292	—	4,037,292	4,037,292
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,844,777	192,514	4,037,292	—	4,037,292	4,037,292
セグメント利益	283,716	83,804	367,520	—	367,520	367,520

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,366,523	63,627	1,430,151	—	1,430,151	1,430,151
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,366,523	63,627	1,430,151	—	1,430,151	1,430,151
セグメント利益	135,615	28,560	164,175	—	164,175	164,175

(注)1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。